

子育て講話 (6月8日実施)

雄武町では、平成18年度から助産師と子育て支援センターの協力のもと、妊婦さんや子育て中のお父さん、お母さんを対象にした「子育て講話」を実施しています。経験豊富な助産師によるさまざまな視点からの講話と相談を受けられ、リピーターも多い事業です。

今回のテーマは「子どもの個性～いい子ってどんな子?～」
素直な子、親の言うことをよく聞く子。それは(大人にとって都合の)「いい子」。敏感さや頑固さ、動き回るなどの一見「育てにくい」と思われることが、実はその子の長所でもあり、大人になってからは生きていく力になる。子どもの個性は持って生まれたもので、しつけや育て方などで親がコントロールできるものではない。だから大丈夫。自信をもってわが子のありのままを愛し、毎日頑張っている自分たちに『ハナマル』をあげましょうというお話でした。

<参加者の感想>

- ・赤ちゃんを見てよかった。子育ての困るであろうことを聞いてよかった。
- ・「その子」ではなく「悪い事(行動)」を叱ることに取り組んでみようと思う。
- ・夫との関わり方、子どもと夫の関わり方についても聞いて良かった。



小学校歯みがき教室 (6月8日実施)

沢木小学校で歯みがき教室を実施しました。

歯科衛生士さんに歯みがきのコツを教えもらいながら歯ブラシの持ち方を確認したり、歯をみがく強さ(ブラシ圧)をキッチン計りや特別な機械で測ったりしました。高学年の児童は「8020運動」についての話を聞き、80歳になっても20本以上自分の歯を保持している人が増えていること、歯と口の健康は全身の健康につながっていることを学びました。

歯みがき教室は長年にわたって各学校で実施しており、子どもたちはいつも一生懸命学んでいます。歯みがきは日々の継続が大切なので、ぜひご家族皆さんで取り組んでみてくださいね!



新生児訪問

今年度最初に誕生したのは5月生まれの赤ちゃん。子育て支援センターの保育士とぷちさぼ保健師と一緒に家庭訪問させていただきました。

赤ちゃんが生まれてから初めての訪問では、赤ちゃんの体重が増えているか、母乳やミルクは足りているかなど、お母さん・お父さんの心配ごとに寄り添いながら一緒に成長を確認します。

産後のお母さんの体調やご家族のサポート状況について教えていただき、ご希望や必要に応じて産後ケアなどのサービスが利用できるよう調整します。

おめでとう
メッセージカード→



↑体重を測定中

↑「お兄ちゃんありがとう!」



↑子育て支援センターから、お兄ちゃんやお姉ちゃんにも「おめでとうメッセージカード」のプレゼントがあります。

令和3年度母子保健活動実績

- 家庭訪問 275件
- 健康相談 623件(来所・電話)
- 子育て講話・タッチケアなど 5回、延 51人参加
- 産後ケア(集団) 3回、延 34人参加
- 産後ケア(個別) 23件
- 小学校歯みがき教室 5回、延 186人参加
- 小学校健康教育 2回、延 19人参加
- 中学校健康教育 2回、延 67人参加
- 高校健康教育 2回、延 81人参加
- 発達支援者学習会 4回、延 83人参加
- 関係機関連絡 250件
- ケース会議 25回
- 乳幼児健診受診率 100%
- 妊産婦健康診査受診率 100%



ハーフバースデー祝品贈呈事業

令和4年度から、新たに生まれた赤ちゃんとそのご家族を対象に「ハーフバースデー祝品贈呈事業」を実施します。

祝品は、乳幼児のお子さんをもつ親御さんたちへのアンケート結果から玩具となり、町木であるトドマツを使用した「木のわっか」をプレゼントします。「木のわっか」は、地域のさまざまな人の協力を得て一つひとつ手作りしています。

赤ちゃんの誕生を喜び、その成長やご家族の子育てを見守り応援し、安心して子育てできるまちづくりの一端を担う事業となるよう準備を進めています。

今後も「木のわっか」の制作過程や赤ちゃんにご家族への贈呈の様子などをお知らせしていきます。

